せーのでチェンジ

住める くらせる 東京に

日本共産党 都議会議員 せいの恵子 都政レポート

No.017　2026年11月号
発行・日本共産党・せいの恵子事務所
〒114-0032 北区中十条2-11-6
☎3906-2821 FAX 3906-3225

充実した若者への支援策

都議会日韓議連が韓国視察 ソウル市庁舎にワンストップ相談窓口

10 月に東京都議会日韓議員連盟の一員として韓国を訪問。ソウル市議会や広津区での面談では、日韓両国がともに抱える課題について意見を交わし、交流をしました。

韓国では、公共交通の利用を支える制度や若者支援、環境に配慮した食材を使う無償給食などの取り組みが進められています。

特に興味深かったのは若者支援です。地下鉄から直結するソウル市庁舎地下に若者が就職を含む生活全般に関する相談を一か所で受けられるワンストップの相談窓口がオープン型で設けられていました。誰もが訪れやすく、予約なしで立ち寄れ、簡単な相談は開放型カウンターで詳しい相談は個室で対応し、相談から必要な行政サービスにつなぐ仕組みとなっています。

次に訪問した広津区には大学が2つあり、若者が増えていることから、家賃補助や語学試験・資格試験の受験料を区独自で補助する仕組みがあるということでした。

このような取りくみを都や北区でも実現していきたいと思いました。


カフェより眺めるソウル北村韓屋村の街並み

過去の歴史に向き合い、対話と交流で平和の構築を

また、38 度線の非武装地帯にも足を運びました。目の前に広がる分断の現実に、平和は決して当たり前のようにもたらされるものではないと、痛感しました。

過去の歴史と真摯に向き合い、互いの文化を尊重する。そして、人と人との交流を重ねながら、日本国憲法 9 条を生かし、対話と交流で平和を築いていくこと。その大切さを、あらためてかみしめた訪韓でした。



ソウル市議会への訪問（左端が、せいの都議）

せいの恵子の活動日誌



王子第三小学校創立100周年記念式典 ＝10/24


滝西ふれあい館文化祭＝10/18


都立心身障害者口腔保健センター視察 ＝10/28

せいの恵子の自転車に乗って

学校に歴史、未来への願いあり

今年の秋は、北区の小学校の周年行事に出席する機会が多くあります。

学校を訪れ、その歴史を知ると、創立された時代や、地域とともに歩んできた道のり、戦争や震災、社会の大きな変化を乗り越えながら、子どもたちの学びの場を守り、地域に根を張ってきた歴史の重みを実感します。

そして、どんな子どもに育ってほしいと考えているのかを示す、学校ごとに異なる教育目標や校歌には、その土地の風景や歴史、子どもたちの未来への願いが込められています。

私の母校は火災に見舞われた滝野川第三小。子どもがいない校舎を目にし、学校は単に知識を学ぶ場所ではなく、子どもたちが成長し、地域の人々が思いを寄せ、世代を超えて記憶をつないでいく場所なのだと、あらためて感じています。